

姉妹都市交流 45 周年を記念して、ミネアポリス市から 5 名の訪問団をお迎えし、姉妹都市活動室 (IIN) と実用日本語学習会共催のワークショップが開催されました。

テーマは「みんなで作ろう和食」。ゲストに日本の伝統文化である和食の調理や試食を体験していただくという企画です。実用日本語学習会からも、日本語を学んでいる学習者 6 名と、支援者 13 名が参加しました。

調理のメニューは、おにぎり、味噌汁、玉子焼きです。

まず、買い物に使う簡単な日本語会話を練習したあと、グループに分かれて阪急本通り商店街に食材の買い出しに出かけました。卵屋さん、豆腐屋さんで「これください」「いく



らですか」と練習したばかりの日本語を使って買い物をしました。乾物屋さんでは鰹節を削る作業の見学をさせていただき、ゲストも学習者も興味津々。削りたての鰹節の試食には「いい匂い」「美味しい」との声が聞かれました。茨木市の地元商店街を巡って、茨木のことや、日本ならではの食材を知ってもらう良い機会になったと思います。



買い物が済むとローズワムの調理室に戻り、ゲストと学習者に出汁の取り方のデモンストレーションを見てもらいました。皆さん真剣な表情で見学されていたのが、試飲の時にはパッと笑顔になったのが印象的でした。

いよいよ買ってきた食材を使っての調理タイムです。それぞれ好みの具を選んで、思い思いの形におにぎりを握りました。卵を上手に巻いて手際よく玉子焼きを





焼き、あっという間に美味しいランチが出来上がりました。
初めての和食作りとは思えない出来栄でした。



ゲストと日本語学習会、姉妹都市活動
室の皆さんと食事を楽しんだあとは、
姉妹都市活動室による英語のプレゼ
ンテーションを見学し、最後は皆でデ

カンショ節を踊って、楽しくお開きとなりました。



このワークショップで和食を
通じて、ゲストや参加者の皆さんに市民レベルでの交流を楽し

んでいたのではと思います。また参加した学
習者から、楽しかった、良い経験になった、と感想を

聞きました。買い物や和食作りの体験は、これからの日本での生活に活か
ることでしょう。

今後も姉妹都市との友好的な交流が続くことを願っています。

